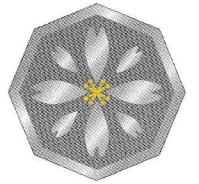




国際ロータリー第 2620 地区
米山記念奨学生学友会



会報 Vol.3 2011-2012 年度



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

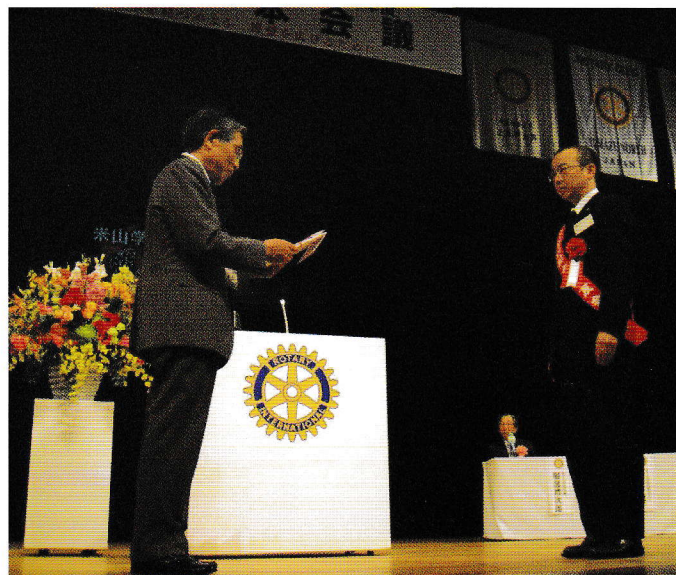
皆様の力を合わせて、より素晴らしい学友会を築きましょう

国際ロータリー第 2620 地区
米山記念学友会
2011-2012 年度 会長

沈 崗

今年度の RI 第 2620 地区米山記念学友会会長を務めている沈と申します。

まず簡単に自己紹介させていただきます。私は東京芝 RC にて 2001 年度 - 2002 年度の米山記念奨学金を受給致しました。その際にカウンセラーの佐古田様（故人）、長谷川様におよび芝 RC の皆様に大変お世話になりました。卒業後、私は就職の関係で山梨県に移住し、そして運よく RI 第 2620 地区米山記念学友会が創立された際に、監事就任の打診があって、喜んで引き受けました。その後創立期間と第 1 期の監事、第 2 期の副会長、第 3 期の会長を務めてきました。



地区大会補助金授与式での積ガバナーと沈会長（右）

この 3 年以上の間は学友会の正会員の皆様、奨学生の皆様、そしてロータリアンの皆様と共に、親睦活動と奨学生関連行事のサポートを中心に活動してきました。しかし、今年はやはり多くの会員と同じ、自分も育児生活と仕事の両立を図りながら、さらに時間を割って学友会の活動に参加する問題を直面しています。幸いにも、上野副会長、国仲副会長、崔理事など学友会会員、国際ロータリー第 2620 地区ガバナー、ロータリー米山記念奨学委員会、そして小野様や渡邊様など多くのロータリアンたちのご協力を頂きながら、何とかやって来られました。つくづく学友会というグループの有難さを味わった一年となりました。

学友会は米山記念奨学金受給者たちによる社会奉仕の場所であり、それと同時に会員の皆様が親睦を深め、日本での生活をお互いに支えあう場所でもあると考えております。学友会の発展には、学友会の会員たちが積極的に活動に参加して、ロータリークラブそして社会に米山記念奨学金そして学友会の存在価値をアピールすることと同時に、ロータリークラブからの支援を頂くことが非常に重要だと存じます。

より素晴らしい学友会を築くため、ロータリークラブのご指導とご支援のもとに、学友会の皆様が力を合わせて、頑張っていきたいと思います。



静岡・山梨

国際ロータリー第2620地区
Rotary International District 2620

米山記念奨学生学友会の皆様へ

国際ロータリー第2620地区
2011-12年度 ガバナー

積 惟貞

米山記念奨学会は日本のロータリークラブの創始者としての米山梅吉翁の遺徳を偲んで日本全国のクラブが参加し、毎年寄付を重ねて資金を捻出している日本独自のプロジェクトです。ただ奨学金を提供するだけでなく奨学生をお世話するクラブとロータリアンが用意されていることも特徴の一つです。

皆さんご自身は勿論、ご家族も大いなる決断をなさって勉学の場に日本を選ばれたわけで、専門の勉学は当然ですが異文化としての日本も良くご理解いただき、母国との平和の懸け橋になっていただきたいと思います。皆さんは母国を代表し世界的に活躍なさる人たちですが更にそこにロータリーとの関わりができたことは皆さんにとって大きな財産になったと思います。素晴らしいロータリーの人脈を同時に得られたのですから。フェイスブックやツイッターに代表されるいろいろなITをツールとして仕事も社会も動く今日だからこそ、フェイス・トゥ・フェイスで温かみのある人間関係が非常に必要であり、それは年齢が進むほど確かなものとして実感されることと思います。



第2620地区では毎年地区大会に当地区米山記念奨学会学友で既に日本を離れた方をご招待するホームカミング制度があります。私の年度には台湾の黄文櫻さんに講演をお願いして好評でした。このような温かく長いお付き合いが続くことを心から願っています。

友愛の輪を世界中に広げましょう

ロータリー米山記念奨学会委員会
2011-12年度 学友会担当

小野 毅

2009年3月1日に当地区の学友会が発足して早や3年が経過しました、その間、米山奨学会委員会活動への協力を始め、地区主催イベント活動に参加したり、自らの企画も数多くこなし、素晴らしいスピードで充実した学友会活動に邁進しておりますことは学友会創立に関わった一人として、こころから喜んでおります。なんととっても活動拠点が固定化していることです、事務局を米山梅吉記念館に置いていることです、このことは学友会創立総会の席上、元米山梅吉記念館館長の坂本豊美 PG からの提言であり、そのご提言をご来賓でお呼びしました板橋敏雄理事長が「ブービー賞」と高く評されました。活動拠点として申し分ありません。沈崗会長のリーダーシップは十二分に発揮され、他の先進地区学友会と比して劣らずの状況にありますことは、明白な事実であります。

学友会はこれからさまざまな問題点に遭遇しますが、皆さんの英知で乗り越えていかれますことを切に望みます。その問題点の一つに地区の広さがあります、でもそれは「Yahoo!グループ」を利用し、瞬時にして2620地区全域に情報を行き渡らせることが出来ました。

ところで、この度創立メンバーで今年度監事の蔡飛さんが中国上海にある大学へスタッフとして戻ります、大変栄誉なことこころから喜んでおります。しかし、学友会にとりましては、彼の帰国は別れを意味しておりますので大きな痛手であるのです。幸いにも、蔡飛さんは以前から「face book」に加入しております。このフェイスブックなる通信媒体はいつでも、どこでも、世界中と交信できてしまいます。蔡飛さんは確かに遠く上海で活躍しますが、フェイスブック上でいつでも連絡でき、互いの情報を交換でき、意見を述べ合えます。

写真は、去る5月13日、米山記念奨学生オリエンテーションが米山梅吉記念館で催されましたが、蔡飛さんと一緒に米山梅吉翁の肖像画とともに写しましたものです、

上海に赴かれて、現地の学友会で活躍され近い将来ホームカミング制度で「帰国」されますことを期待します。



米山梅吉記念館での小野学友担当（右）と蔡監事

RI 第 2620 地区米山記念学友会の活動 I

7月10日米山梅吉記念館にて第3期通常総会が開催され、本年度の活動が幕を開けました。



11月20日にRI第2620地区大会（沼津）会場で米山記念奨学コーナーを設置して、米山記念学友会と現役奨学生によってお国自慢・お茶サービスを提供しました。



米山記念奨学コーナー



12月17日浜松にて忘年会と第1次理事会を開催しました(地ビールレストラン「マイン・シュロス」)



RI 第 2620 地区米山記念学友会の活動 II

1月29日「奨学生選考会」の後、富士市へ「毘沙門天大祭」を見学し、三島にて新年会を開催。



毘沙門天大祭は日本三大だるま市の1つとして有名



米山奨学生の面接(1/29)や終了式(3/3)、新規奨学生のオリエンテーション(5/13)をサポートしました。



6月16日駿河健康ランドにて親睦合宿と第2次理事会を開催しました。



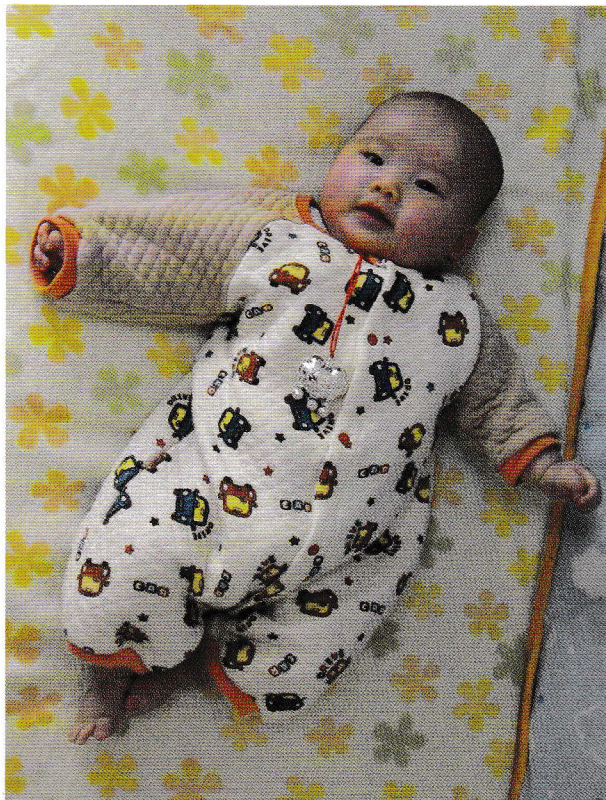
会員コーナーI

会員活動



上野会員は浜松南 RC にて卓話および救急蘇生講習会に参加

会員投稿



陳興華会員の可愛いベビー(2011年10月生)



ペレーラ会員のご子息たち、格好いいですね

会員コーナーII

2011～2012 年度理事役員

役職	氏名 (漢字)	氏名 (カナ)	役職	氏名 (漢字)	氏名 (カナ)	役職	氏名 (漢字)	氏名 (カナ)
会長	沈 崗	チン コウ	副会長	国仲 智	クニナカ サトシ	副会長	上野佳子	ウエノ ヨシコ
会計(兼)	上野佳子	ウエノ ヨシコ	会計	崔 暁冬	ツウエ ショトウ			
理事		ペレーラ、チャリット	理事	兪 新民	ヨイ シンミン	理事	伊 紅	イ ホン
理事	宋 安娜	ソン アンナ	理事	榮 翌	エイ ヨク			
監事	小野 毅	オノ タケシ	監事	蔡 飛	サイ ヒ	監事	楊 悦	ヨウ エツ

新会員 (正会員)

氏 名	読み方	国 籍	居住県	世話 RC
楊 平	ヤン ピン	中国	静岡	盛岡東
周 明 芳	シュウ メイホウ	中国	静岡	浜松北
ゲン・ハー・ティ		ベトナム	静岡	清水中央
ゲン・タン・ミン		ベトナム	静岡	清水
文 順 姫	ブン ジュン キ	中国	静岡	静岡東
尹 殷 采	ユン ウン チェ	韓国	山梨	甲斐
薛 玉 珊	セツ ギョクサン	中国	山梨	大月
李 森	リ シン	中国	東京	甲府城北
バットグトフ, ハルギウナー		モンゴル	静岡	浜名湖
ダス, プロタープ		バングラデシュ	静岡	藤枝
呉 玉 芳	ゴ ギョクホウ	中国	静岡	新富士

学友会のホームページ <http://sites.google.com/site/alumni2620/>

会報に関するご意見や感想などございましたら、下記までお寄せください。

沈(チン) : shengang116@hotmail.com

ペレーラ : charith@a-bex.com

2012 年 6 月発行